

垂欧堂田善展関連ワークショップ
はじめての銅版画

エッチング、 線から生まれる 表現の魅力

① 2023. 2.4 [土] ② 2.23 [木・祝]

※両日ともプログラム内容は同じです

講師	沢田照晃 (銅版画家)
時間	10:10～16:30 (途中お昼休憩1時間あり)
会場	千葉市美術館 5階ワークショップルーム
対象	中学生以上
定員	各回12名
参加費	800円 (大学生以上は別途、企画展観覧券が必要です。)
申込	当館ウェブサイトより事前申込制 / 抽選 *申込締切 ① 2023.1.25 [水] ② 2023.2.12 [日]

企画展「没後200年 垂欧堂田善」では、江戸時代の日本で腐食銅版画技術を完成させた洋画家・垂欧堂田善を紹介しています。銅版画の技法のひとつであるエッチングは他の画材では表現できない魅力的な「線」の技法です。描くのに難しい技術や強い力は必要ないため、子どもから大人まで誰でも気軽に銅版画を体験することができます。まずはイメージのおもむくままに線をひいてみましょう。腐食を経て生まれた線(凹み)にインクを詰めて大きなプレス機で刷れば、紙にはきっと楽しい線と驚きがうつさされているはず。制作プロセスを実際に体験してみると、田善が描いた緻密な線や作品への眼差しもさらに深まることでしょう。

お申し込みはこちらから



講師 瀧沢照晃(銅版画家)

東京造形大学美術学科卒業。在学中に銅版画の魅力にふれ現在まで線描を追求した作品を制作。以降、内外にて個展・グループ展多数。2006年度文化庁新進芸術家国内研修員。2010年より自らの制作スタジオを兼ねた「銅版画工房エフプレス」を千葉市美浜区に開所。初心者から美術作家まで数少ない千葉の銅版画制作の拠点として運営・指導にあたる。

銅版画工房エフプレスHP : <http://ef-press.com>
 瀧沢照晃HP : <http://fuchisawa.com>

展覧会情報

没後200年 垂欧堂田善 江戸の洋風画家・創造の軌跡



会期 2023年1月13日[金] - 2月26日[日]
 前期:1月13日[金] - 2月5日[日] 後期:2月7日[火] - 2月26日[日]
 休館日 2月6日[月] 休室日 1月30日[月]
 観覧料 一般1,200円(960円) 大学生700円(560円)
 小・中学生、高校生無料
 ※()内は前売券、および市内在住65歳以上の料金
 ※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料

◎本展チケットで同時開催の「新収蔵作品展」および5階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」もご覧いただけます。
 ※割引の併用はできません

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

千葉市中央区中央3-10-8 TEL:043-221-2311

【交通案内】

- JR千葉駅東口から
徒歩約15分／京成バス(バスのりば7)から大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」または「大和橋」下車徒歩約3分／千葉都市モノレール県庁前方面行「葭川公園駅」下車徒歩5分
- 京成千葉中央駅東口から徒歩約10分
- 東京方面から車では、京葉道路・東関東自動車 道で、宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車、国道51号を千葉市街地方面へ約3km、広小路交差点近く
*地下に機械式駐車場があります(車高155cmまで)。*シェアサイクルスポットがあります。

